

こんにちは保健師です

●問い合わせ いきいきはーる健康課の2022局3212番

妊娠希望者は要注意
風しん予防
できてますか？



風しんとは風しんウイルスが原因で起こる感染症です。国がワクチンの定期接種を始めて以降、大きな流行はみられなくなりました。しかし近年、海外からのウイルスが原因で感染者が増え、免疫が不十分な世代への対策が急がれています。

特に妊婦は感染し出産をすると、疾患のある子が生まれる可能性があるなど、注意が必要です。町では妊婦や接種を1度も受けたことがない世代へ、接種を勧めています。自分や家族を守るために、予防に取り組みましょう。

くしゃみ・会話で感染

風しんは感染すると、発しんやリンパ節のはれ、発熱などの症状がでる病気です。感染の原因は飛沫感染で、感染者のくしゃみや会話などでもうつる非常に強い感染力を持っています。

妊婦は特に感染への警戒が必要で、感染した女性が出産した場合、難聴や心疾患、白内障などの先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる可能性があります。

60歳未満の女性であれば1度は予防接種を受けていますが、時間の経過とともに抗体価が下がり、感染してしまうこともあります。

感染は同居者から感染する場合も多く、妊娠希望者は本人以外にも同居者への予防接種が重要です。町では、妊婦とその家族を対象に予防接種の助成を行っています。妊娠後は接種できないため、早めに予防に取り組みましょう。

予防接種の概要

風しん予防接種
年代別接種状況

性別	男性	なし	中学生時 1回接種	幼少期 1回接種	幼少期 2回接種
性別	女性	なし	中学生時 1回接種		
出生		昭和37年 4月2日~	昭和54年 4月2日~	昭和62年 10月2日~	平成2年 4月2日~

※左上の記事を確認してください。

風しん抗体率が低い
43歳~61歳男性は必見

この世代の男性は、予防接種を受ける機会がなく、抗体保有率が低くなっています。そのため、町は無料クーポン券を配布し、予防接種を勧めています。

身近に妊娠を控えている人などがいた場合、皆さんの感染が、女性に危険性をもたらします。まずは抗体検査を受けて、十分な抗体があるか確認し、予防に取り組んでください。

●対象 昭和37年4月2日~昭和54年4月1日生まれで、今までクーポン券で検査したことがない男性

●内容
▷抗体検査 十分な抗体があるか確認する検査です。以前、町が郵送したクーポン券を持って、対象の医療機関で検査を受けてください。券を紛失した人は健康課に電話してください。
▷予防接種 抗体検査の結果、抗体価が低いと分かった人は接種してください。
●費用 検査・接種ともに無料

無料の抗体検査

抗体率が分かる抗体検査。県は妊婦などを対象に無料で実施中です。詳しくは右QRから確認してください。



- 対象 ①か②に該当する人
①町内在住で風しんの抗体価が低いと判明した、妊娠を希望する女性
②妊婦中の人は対象外です。
- 自己負担額 3千円
※生活保護受給者や非課税世帯の人は無料です。
- 申込方法 いきいきはーる健康課窓口で手続きしてください。
※手続き後、受け取った予約票を持って対象医療機関で接種を受けてください。



備えあれば憂いなし

防災アトラクション 生涯学習係

3月21日、九州初の開催となるリモート型防災アトラクションがオンラインで行われ、多くの人に参加しました。コロナ禍でも安全に実施でき、防災に関するさまざまなミッションに取り組むことで、災害に対する心構えや実際に災害に巻き込まれたときの対処法などを学べる新しいカタチの防災訓練です。また、オンライン上で質問を受けたり、参加者が今自宅で備蓄しているオススメ食品や携帯用トイレを持ってきて紹介したり、被り物をしている人がいたり画面は笑顔であふれていました。

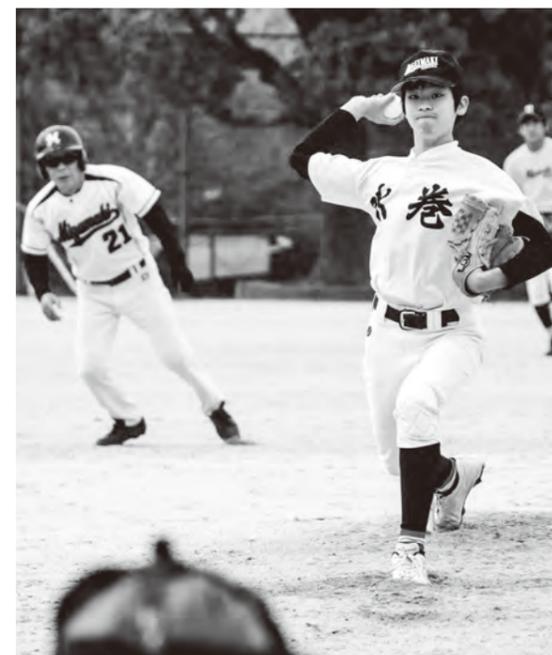
30年以内に起こるといわれている南海トラフ地震。参加者たちは、自分の身や家族を守るため、正しい知識と準備が必要だと再認識したようでした。

1人4役!? キツネ役もこのとおり

落語「水巻ぎんどん寄席」

3月13日、図書館で落語寄席が行われ、会場は落語ファンで満席となりました。演じてくれたのは北九州市で活動するアマチュア落語「ぎんなん落語の会」の皆さんで、この日は小学6年生の笹乃屋素敵ちゃんなど、趣向の違う5人の話しが聞けました。トリをつとめたのは、会長の菊亭山葵さん。演目は「初音の鼓」で、叩けば隣人が「コンツ」と鳴くという珍品の鼓(たいこ)を、ある商人が殿様に売りつけようとするお話。商人は買収した殿様の重臣と悪行を企てるも、最後に殿様からとんちが効いた一言が。

クールな殿様役からハメを外したキツネ役まで、1人4役を演じる山葵さん。プロ顔負けの高座に、会場からは笑い声が絶えませんでした。



中学生vsシニア年齢を超えた真剣勝負！
地域部活動へ向けた世代間交流戦

3月13日、水巻中学校で水巻ゆうあい倶楽部野球部と水巻中学・南中学の野球部合同チームによる試合が行われました。ゆうあい野球部とは、町内に住む65歳以上の野球好きが集まったチームで、この日は歳の差50歳以上の対決となりました。

この試合は、段階的に部活動を地域に移譲していく国の方針に従って「学校部活動と地域スポーツクラブとの交流から始めよう」と企画されました。「50年ぶりに、このグラウンドにまた」と声が聞こえる中始まった試合は、パワー・スピードにまさる中学生と技術・知識のシニアの対決となり、最終回にシニアチームが勝ち越されるまで互角の展開となりました。

